

7月号の主な記事

区政会議の委員を募集します……………2面
第21回北区民親善ソフトバレーボール大会……………2面

おやこの食育教室……………3面
水害から地域を守る「水防団員」募集……………3面

夏のイベント特集……………4面
大阪キタでeスポーツ……………8面



水都彩る天神祭 4年ぶり完全復活

御鳳輦講が陸渡御に出発



銚流神事



船渡御の上空を彩る奉納花火 (大阪天満宮提供)

主な行事予定

【7月24日 宵宮】

- 7:45 宵宮祭(本殿)
- 8:50 銚流神事(銚流橋北詰)
- 16:00 催太鼓・獅子舞氏地巡行

【7月25日 本宮】

- 13:30 本宮祭(本殿)
- 15:30 陸渡御列出発(天満宮)
- 18:00 船渡御列出船(天神橋北詰)
- 19:00 船上祭(天満橋上流)
- 19:30~20:50 奉納花火
- 20:50~22:00 宮入(天満宮)
- 22:00 還御祭(本殿)



宮入前の御鳳輦講

船渡御も花火も

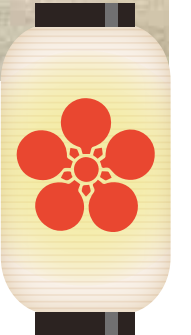
道真公の御神体を乗せる御鳳輦講(ごほうれんこう)講元の後藤孝一さんは「去年は陸渡御だけでも、やりましたけど、見る人も少なくて盛り上がりませんでした。やはり船渡御があつて花火が上がって、わあつとならんとね」と話します。4年ぶりの船渡御に向けて資料を引っ張り出しながら再開されました。

21年は、銚流などの神事を中心に開催、22年は陸渡御(りくとしぎよ)が規模を縮小して再開されました。

船渡御では、御神霊を乗せた船、神様のお供をする船、お迎えする船など約100隻が大川を進みます。船がすれ違うたびに「打ちまーしよ」と「大阪締め」が交わされ、陸から見る人も声や打ち手で参加します。日が暮れると花火が上がリ、なわの「火と水の祭典」は最高潮を迎えます。祭りの開幕を告げる銚流神事やフィナーレの宮入なども見応えがあります。空いた時間には境内や屋台をのぞき、久しぶりに完全復活する天神祭を「わがまちの祭り」として楽しみませんか。

学問の神様、菅原道真公をおまつりする大阪天満宮の天神祭宵宮が7月24日(月)、本宮が25日(火)に催されます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止されていた船渡御(ふなとしぎよ)と奉納花火が4年ぶりに復活。かがり火や花火が大川の水面に映り、にぎやかに船が行き交う水都大阪の夏が戻ってきます。

天神祭は951年、社殿前の浜から神銚(かみほこ)を川に流し、行き着いたところに御旅所(おたびしよ)をつくり、みそぎを行った神事が起源とされています。2020年と



7月24日(月)宵宮
25日(火)本宮



後藤孝一さん